事務事業評価シート

評価実施年度： 平成２８年度

上位の施策名称	施策Ⅰ－２－１　売れる農林水産品・加工品づくり

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長　鈴木　岳明	電話番号	0852-22-5311

事務事業の名称		漁業秩序維持管理事務
目的	（1）対象	漁業者・漁業協同組合
目的	（2）意図	漁業の許可指導や漁業権の免許指導を通じて水産資源の保護と漁業生産の安定を図ると共に漁業取締活動を通じて漁業操業秩序を維持する。
事業概要		漁業者に対し漁業の許認可、漁協・漁業者に対し漁業権の免許及び漁業権行使の指導、漁船の所有者に対し登録・検認を行うとともに、島根県沖合海面において漁業取締船による取締・指導を実施することにより、法令違反の防止を図り、漁業秩序を維持する。

2.成果参考指標

	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	漁業取締船出動日数	目標値		130.0	130.0	130.0	130.0	日
			取組目標値						
	式・定義	出動日数	実績値	93.0					
			達成率	－	－	－	－	－	%
2	指標名	漁業許可件数	目標値		2,200.0	2,200.0	2,200.0	2,200.0	件
			取組目標値						
	式・定義	漁業許可件数	実績値	2,198.0					
			達成率	－	－	－	－	－	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事　業　費（b）（千円）	34,629	41,483
うち一般財源（千円）	32,679	39,541

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

漁業許可等の管理や漁業取締船の運航をとおして、島根県沖で行われる漁業の操業秩序維持に大きく貢献している。なお、老朽化が顕著な漁業取締船の代船建造を進めた。

6.成果があったこと（改善されたこと）

県内漁業の操業秩序維持に貢献している。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

漁業関係法令違反が根絶していない。

②困っている状況が発生している「原因」

漁業許可受有者に対して操業に関する指導が充分に行き届いていないとともに、従来の漁業取締船の監視取締り能力では漁業関係法令違反の抑止効果に限界がある。

③原因を解消するための「課題」

漁業許可受有者に対する操業に関する指導と新しい漁業取締船による監視取締を効果的に実施し、違反操業を未然に防止する。

8．今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

漁業許可受有者に対して、許可更新時等に操業に関する指導を徹底するとともに、最新鋭の機器類を設備し能力がアップした新しい漁業取締船による効率的かつ効果的な監視取締を行う。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9．追加評価（任意記載）

更新日： 2016/12/14 14:55